



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 24 年 6 月 8・9 日(金・土)
財) 高速道路交流推進財団の視察 編

平成 22 年 第四回「観光資源活用トータルプラン」へ来てよかった！ また来るよ〜で優秀賞を受賞してから、早 3 年。最終年度の視察団が能代にお越しになりました。

初年度、平成 22 年の 10 月 7・8 日に山田委員をはじめ事務局の西村次長、田中さんの 3 名が視察され、評価の中に能代市をはじめとする行政、市民が非常に消極的であり、特に行政の観光に対する消極性が際立っているとの指摘を受け、「白神」という全国区のネームと「のしろ」をどう結びつけるかなど、今後の課題が山積みであることを実感しました。あれから 2 年が経過……秋田県は DC キャンペーンで盛り上がる中、能代は一向に活気づいておりません！

今回の視察後評価はどのよな指摘があるのか、ドキドキの二日間でした。

この度の視察メンバーは、溝尾良隆氏(選考委員長・帝京大教授)、高速道路交流推進財団からは永井浩治郎・企画部長、佐々木直子氏(同部企画二課)。まずは、秋田空港到着後、事務局である渡辺・佐々木准教授が勤務する秋田県立木材高度加工研究所に直行していただき、昼食、報告会、見学。

その後、金勇→能代駅→上町ほっとステーション→平山はかり店→能代バスミュージアムで 1 日目は終了。

すみれ会メンバーの平山はかり店の昔懐かしい品の陳列やおもてなしたっぷりの店内を見て頂き、グッズ販売や売り場の陳列方法などアドバイスをいただきました。資源はあるのに掘り起こしの出来ない能代。観光協会、市町村、県、旅行社との連携も大きな課題と言えます。

とにかく、二日間でどれだけ知識を吸収できるか、夕方からの交流会でもポンポンと本音トークが飛び出し、飲みコミュニケーションは大いに盛り上がりました！

NW からは、NPO 常盤ときめき隊の石川博孝隊長、岩村攻理事、手這坂活用研究会・大高孝雄会長、上町すみれ会は本庄龍子さんと能登。能代市市民活力推進課・小野さくらさんが出席。もちろん事務局のお 2 人の先生もです。それから、話題に上った枝豆談義。岩村さんのこだわり枝豆と佐々木チヨさんの放し飼い地鶏・チヨ鶏をブランド化するべき！！ わくわく、楽しい議題でした。二次会も大盛況で、能代の食を満喫していただきましたが、明日の視察は大丈夫？？

2 日目も盛りだくさんなハードスケジュール。ちょっと出発時間を早めて出発。まずは井坂記念館。能代を木都として東洋一にし、現在のバイオマス発電までした茨城県水戸市出身の偉業者の住居地後の蔵が資料館となっていますが、こんなに能代に尽くした人物の資料館とは思えない貧弱なもので、市の文化意識が問われます。その隣に日吉神社があり、我々 NW が数年前からお世話になっている嫁見まつりが



到着機を待つ間、トランクでとれたての竹の子の皮むきや昼食を取ったりしているタクシーの運転手さん。秋田空港ならではの風景。



木高研での報告会と溝尾先生のレクチャー。



視察コースには平山商店(上)やバスミュージアム(下)も。



どんな視察でも本音トークの交流会は盛り上がります。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

行われるところです。正式には中の申祭という 400 年前から続く神事です。

そして、いよいよ私は初めて行く留山。どこにあるのだろうと思ったら、何と白滝神社の横の道を上って行ったところで、ビックリ！八峰町に入ってすぐの所にこんなに素敵なブナ林があるとは知りませんでした。第一観光の運転手さんがガイドもして下さり、とっても分かり易く、話術が重要であることを学びました。我々の他にも観光バスが止まっており、沢山の人が賑わっていました。灯台もと暗しとは良く言ったもので、お宝資源の掘り起こしの必要性を感じました。

次に手這坂で大高会長から説明を受け、救済措置は無いものかと落胆。

峰浜・石川線を移動し毘沙門憩いの森へ。ウッドチップ舗装や木橋を久々に見てやっぱり憩いの場だ～と森林浴。ログハウスも炊事場もあるのに・・・とひとり言。カヌーを浮かべてコンサートや焼き鳥・・・イベントが出来たら良いのにな～。

お腹も空いて、常盤の里交流センターへ。ときめき隊の女性達野村さん、佐々木さんの手作り、だまご鍋を舌鼓。サラダも煮物も漬物もみ～んな常盤の地場産です。石川さんのトマトや岩村さんの枝豆ももうすぐ収穫の時期を迎えます。6月第3日曜日からの上町ほっとステーションでの朝市をみんな心待ちにしています(●^o^●)

美味しい昼食の後は白神森林組合土場を経て、ニツ井の日本一高い天然秋田杉を見に出発。数年前に訪れた時には歩道がぐちゃぐちゃで転倒防止に四苦八苦でしたが、どっしりとした(安全)木の歩道に感激！ウッドチップやあづま屋もできて大きな進化を遂げていました。この設置はウッディさんないさんと聞いて納得。流石ですね。視察の皆さんは天然杉の多さに驚き、1本だけでないことも PR すべき。また、説明が理解しにくいことも指摘されていました。

空港までの車中でも、活発な意見交換とアドバイス。ルートマップが無いことや全体にわたるストーリー性が見られないなど、多くの課題があります。この度のような外部の達人からアドバイスを頂くことは、重要で大変良い機会をだったと思っています。財団からの支援は 25 年 3 月で終了する訳ですが、皆さんが直接現地を見て、肌で感じていただいたことは、とても貴重で光栄なことです。帰りにスーパーで、じゅんさいを買っていただき、セキトの志んこ餅を召し上がっていただいたことも、ご縁ですよ。我々がどこまで理想に近づけるか分かりませんが、これまでの実践を無駄にせず知恵を絞りながら、たとえノロくても前進して参りたいと思うのです。

溝尾先生、永井様、佐々木様、二日間ありがとうございました。～来てよかった！また来るよ～を実践していただき、再び能代でお目にかかれまますことを楽しみにしております。

文：能登 祐子



ガイド資格をお持ちなので、またドライバーは第1観光の工藤さんをお願いしました。



広葉樹の森の留山(上)もスギの多い仁鮎の森(下)も都会にはないマイナスイオンがたっぷり。



手這坂(上)も毘沙門(下)もその活用が大きな課題です。



常盤のお屋はどの視察でも大好評です。